

受付スタッフのある1日

- 8:30 朝礼
- 9:00 施設貸出開始
チケット販売
接客
- 13:00 お昼休憩
- 14:00 施設の見学案内
- 15:20 打合せ
- 16:00 接客
- 17:15 退勤



ご来館
お待ちしております！



「一瞬でいかに目の前の一人を
笑顔にできるかが勝負！」

ホール受付のお仕事…といっても、その内容は多岐にわたります。施設や備品の管理、チケット販売、チラシの配架、研修。なかでも、来館されるお客様への接客は、施設運営の要となるお仕事です。いちようホールには、様々なお客様がいらっ

方、気軽に立ち寄られる方。時にはお客様と楽しくお話をしたり、施設の説明をしたり…。一人一人に寄り添い、最後には清々しい挨拶とともにお客様を見送る。市民の皆様にとって「アットホームなホール」でありたい、という思いで今日もお客様をお迎えしています。

インタビューしました！

「この仕事に就いたきっかけ、やりがいを感じる時は？」

自分が暮らしている八王子で人とのつながりを大切にする仕事に携わりたいと思い、この仕事を選びました。

出演者・主催者としてホールの下見に来られた方より、「高校の部活の発表会の会場がいちようホールだった。またこの舞台上でとても嬉しい」などのお言葉をいただくことが時々あります。これも30年近い年月を市民の皆様の発表の場として親しまれてきたからこそ。末永く市民活動の発表の場としてご利用いただきたいです。（いちようホール 職員）

このまち このひと

八王子の文化を支える
まちの人々をご紹介します！

江戸時代から織物の街として栄えた八王子。染物と一緒に発展してきました。今、繊維やものづくりを新しい視点で発信する活動をされている染職人の奥田博伸さんに、その思いや八王子のこれからを語っていただきました。



幼少期の自分の目の前には、職人さんやデザイナーの方々、人が交差する中から生まれていく、ものづくりがそこにある風景が広がっていました。一時代が過ぎ、街からそうした風景がなくなっていく中で、時代遅れであってもしなければならないで欲しいという想いから家業を継ぎました。

自分にとって、この街で生まれ育った環境はとても豊かで幸せなものだったのだと思います。

陰ながら街を作り、寡黙で堅実だった先人たちにどうしたら恩返しができるのか。街の景色は変わっていきますが、その想いを未来に繋げていけることが出来たらと日々過ごしています。

奥田 博伸

今月の ほっと一息☕

あるピアノ調律師の願い
ピアノ調律は、人々のパートナーである音楽を、ピアノを通じて支えることを使命とする技術

です。その使命は、整った音律や美しい音色を作ることのみならず、ピアノの想いに触れ、その想いを形にすることにあります。形となったその想いは、感動となって聴く人の心にいつまでも生き続けることでしょ。つまりピアノ調律は、人々の心に感動を運び、人々が豊かな人生を歩むことを、静かにお手伝いしているのです。

家庭の居間の片隅で、演奏されることをひっそりと待っているピアノ。

あるいは街角の喧騒の中で、新たな出会いを待っているピアノ。そしてステージ上でライトを浴びて、これから繰り上げられるであろう熱演を待っているピアノ。ピアノ調律によって命を吹き込まれた全てのピアノ達は、弾く人に寄り添い、聴く人の心に響き、人々の人生を豊かに彩っていくことでしょ。

いちようホールも、ピアノ調律のように、お客様ひとりひとりのかけがいのない人生を支える存在でありたいと願っています。

三上浩一（いちようホール前館長・ピアノ調律師）
いちようホール・南大沢文化会館文化施設等で館長を歴任する傍ら、学校に通い調律師の資格を取得。



ラッラ voice

財団主催公演の来場者アンケートから、感想をご紹介します。

2/20(日)
「夏井いつき句会ライブ in 八王子」 いちようホール 大ホール
想像以上に楽しかったです。毎日、日記は書いているけれど、俳句は全くの初心者。いざ書こうとすると季語がわからず悔しかったです。なので、今日から言葉にできない気持ちや映像を一日一句、やってみようと思います。

3/24(木)～27(日)
「世界の楽器展覧会」 いちようホール 第1・2展示室
見たことも聞いたこともない楽器ばかりでした。世界にはいろいろな楽器が沢山ありますね。体験できる楽器があり、特にサポテンの楽器はスゴかったです。音がスゴいですね。種々の楽器を作った方は素晴らしいです。特に竹の楽器は癒されます。

4/4(月)
「ドラゴンクエストコンサート」 J:COMホール八王子
ドラゴンクエストシリーズのゲームをずっとプレイしており、特に好きなドラゴンクエストIVの音楽が演奏されるということで来ました。プレイした時の思い出がよみがえり、胸にこみあげてくるものがありました。

令和4年度 夢美術館 ラインナップ

- 最後の浮世絵師 月岡芳年展
- 愛のヴィクトリアンジュエリー展
- デミタスカップの愉しみ
- 夢美セクション展
- ますむらひろしの銀河鉄道の夜ー前編

令和4年4/8(金)～6/5(日)
令和4年7/1(金)～9/4(日)
令和4年9/17(土)～11/27(日)
令和4年12/9(金)～令和5年1/15(日)
令和5年1/28(土)～3/26(日)

※内容は変更になることがあります。

八王子市 夢美術館 EXHIBITION

最後の浮世絵師

月岡芳年展 4月8日(金)～6月5日(日)

10:00～19:00(ただし、入館は18:30まで) ※月曜休館

【料金】一般 800円 学生(高校生以上)、65歳以上 400円

※中学生以下無料 ※ラ・ラ友の会会員は2割引

月岡芳年 「月百姿 玉兔 孫悟空」明治22年(1889)

20th Anniversary (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 設立20周年記念

芳年の名を聞くと、「無惨絵」と呼ばれる、残酷な作品を思い浮かべる方も多かもしれません。しかし、そうした血生臭いものは、彼が若い頃に発表されたごくわずかのシリーズに見られる傾向にすぎません。

本展では、昨今の芳年芸術への再評価の流れに鑑み、晩年の集大成的作品である「月百姿」をはじめ、「新撰東錦絵」、「新形三十六怪撰」といった円熟期の傑作を中心に展示します。柔軟な発想とたくましい絵心で幕末明治の浮世絵界を駆け抜けた「最後の浮世絵師」の妙技をぜひお楽しみください。



みどり

ドラマティックで緊迫感のある人物や情景の描写に定評がある芳年ですが、小粋な美人画にも力を発揮しています。女性たちの日常生活の中で見られるちょっとした目の表情や、何気ない仕草の中に美を見出し、繊細に描きだす芳年の感性と表現力にもぜひご注目ください!

月岡芳年「風俗三十二相 にくらしさう 安政年間名古屋嬢の風俗」明治21年(1888)

【お問合せ】八王子市夢美術館(八王子市八日町8-1ビュータワー八王子2F)
TEL:042-621-6777 FAX:042-621-6776

【ホームページ】<https://www.yumebi.com>



月岡芳年「新撰東錦絵 鬼神於松四郎三郎を害す図」明治19年(1886)



月岡芳年「月百姿 五条橋の月」明治21年(1888)



月岡芳年「一魁随筆 西塔ノ鬼若丸」明治5～6年(1872～73)

「市民公募 夢美エンナーレ入選作品展」受賞者決定！

令和4年2月26日から3月24日に開催された「市民公募 夢美エンナーレ入選作品展」において来場者および審査員の投票により大賞、準大賞等が決定しました。

大賞



澤村嘉子「農家の秋」

準大賞



北平律子「ポピー」

準大賞



林銘君「パベルの塔」

奨励賞／阿山隆之、生山文子、大木唯由、金光紀美子、鳴海 昭、西 除闇、細川 清、守谷芳雄、矢島益子、LIU LUYU (敬称略・氏名50音順)